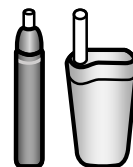


なくなる乳幼児による

加熱式たばこの誤飲に注意



- 「加熱式たばこ」は、たばこ葉やそれを加工したものを燃焼させずに電氣的に加熱し、エアゾル（霧状）化したニコチン等を吸入するタイプのたばこ製品です。
- 近年、加熱式たばこの販売数量が増加していることに伴い、乳幼児による誤飲事故も増えています。
- 近年新たに発売された、誘熱体として金属片が内蔵された加熱式たばこのスティックを誤飲したという事故情報も寄せられています。

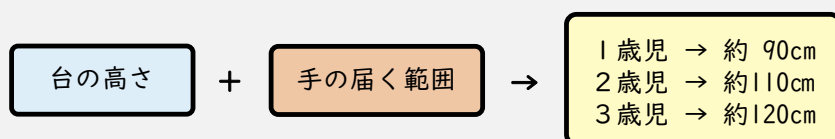


主な事例

- ✓ 本体に挿したまま置かれていた吸い殻を誤飲
- ✓ わずかな間に、ごみ箱に捨ててあった吸い殻を口に入れてしまった
- ✓ 加熱式たばこの吸い殻が入った飲み残しの飲料を子どもが飲んでしまった
- ✓ ごみ袋から加熱式たばこの吸い殻を取り出してかじっていた
- ✓ こたつの上に置かれていた灰皿の吸い殻を誤飲して1日入院
- ✓ 保護者のかばんの中の吸い殻を誤飲して腹部レントゲンで金属片を認めた

！ 消費者へのアドバイス

- ① 加熱式たばこの誤飲事故を防止するため、スティック等は**乳幼児の手や目が届かない場所に保管・廃棄**するようにしましょう



* 子どもの手が届く範囲は、1歳児では台の高さが50cmの場合、台の手前から40cmまでとされています。

- ② 乳幼児が加熱式たばこを誤飲した場合には、**水や牛乳などを飲ませず、直ちに医療機関を受診**するようにしましょう
- ③ どのようなタイプの加熱式たばこを吸っているのか周囲の方も把握しておきましょう